

## 中学生(鶴居中学校)の感想 ※一部抜粋



### 【助産師さんの話で感じたこと】

- 「赤ちゃんが誕生する」ということは奇跡の連続で成り立つと感じた。自分と相手のことを考えて行動していきたくと思った。
- 思春期の私たちには様々な心、体の変化があるのだと感じた。授業では体験できないこともたくさん学ぶことができました！
- 命を授かるということはとても大切であるということがわかった。性感染症などは本当に恐怖だと思った。思春期に自分の心情が変わるのはごく自然なことだとわかった。
- 性に関して自分たちが持つ欲求は自然なことであるとわかった。助産師さんは子どもが生まれる前からあとまでサポートをしてくれると思った。

### 【保護者インタビュー等で感じたこと】

- 子どもがとても元気でかわいくていやされました。子育てが大変だということは知っていましたが、インタビューをして改めて大変だということを知りました。命の大切さを改めてわかりました。これからも命を大切に、家族を大切に幸せに生きていきたいです。
- 小さいころがいちばん成長スピードが速いと思った。育て方、育ち方は人それぞれで面白かった。子育てはやりがいがあるひとつの仕事だと感じた。
- 赤ちゃんの成長はすさまじいということ。お母さん、お父さんは偉大だということ。大変でつらいとかんじても、幸せや喜びを感じられる子育ては素晴らしいということ
- 子育てする上ではたくさんの大きな壁があるけれど、それを乗り越えたときにたくさんの喜びや達成感を得ることができるのだと改めて思いました。命というのは、とてもかけがえのないもので、赤ちゃんが産まれてくることは、それじたいが奇跡なんだと知りました。今、自分がここにいるのも当たり前ではないと知り、親にも感謝の気持ちを伝えようと思いました。
- 大変なことを乗り越えたら絶対幸せがある。



## 協力していただいた保護者の方から中学生へメッセージ ※一部抜粋

- 自分の子育てを振り返る良いきっかけをいただきありがとうございます。今回の体験学習が一人でも多くの子の命や子育てについて考えるきっかけになっていたらとても嬉しく思います。
- 「母は偉大」と言いましたが、産んだ瞬間からそう思いました。産んですぐ母に会いました。母の顔をみて思いっきり涙を流しました。安堵の気持ち、感謝の気持ち、たくさんの想いが一瞬にして涙に変わりました。命がけで何十時間も寝ずに痛みに耐え出産をする。こんな思いで産んでくれたことだけでも本当に凄い人だと思いました。育てるという事は出産より時に大変かも？しれません。2年半子育てしてきて段々とより母の偉大さに気づかされます。何事も経験してみないとわからないです。母になることもそうですが、色々なことにチャレンジして、沢山の経験で人生を豊かにしてください。
- 小さい命にふれあって、命とは尊いものだと感じていただけたら幸いです。また、赤ちゃんを育てるにあたり、お父さんお母さんがいろんな事に悩んだり、不安に思ったり、楽しかったり、たくさんの経験をして親になっていくことを知ってもらえたら嬉しいです。

コロナ禍にも関わらずご協力いただきました保護者の方々、関係各所のみなさま本当にありがとうございました！

### 3歳児歯科表彰 虫歯のない子

令和4年11月に行われた3歳児健診で「虫歯のない子」として表彰されたお子さんです！



鶴居市街  
ふじばやし みあき  
藤林深瑛ちゃん



下幌呂  
いた あかり  
板 明凜ちゃん



鶴居市街  
もりわき いほり  
森脇 生織くん



下幌呂  
くりの たいな  
栗野 帝那くん



鶴居市街  
みなとや みつき  
湊谷 充樹くん



## 令和4年度 赤ちゃんとふれあい体験学習を開催しました(鶴居中学校)



令和4年10月28日に、鶴居村総合センターで令和4年度赤ちゃんとふれあい体験学習事業を行いました。

村では赤ちゃんとふれあう機会の少なくなった思春期の中学生を対象に、助産師の方からの講話を聞くこと、赤ちゃんやその保護者の方とふれあうことで「親になることの責任」、「赤ちゃんのかわいらしさ」、「生命の尊さ」を肌で感じ取ってもらうことを目的に、鶴居中学校では毎年中学3年生に、幌呂中学校では3年に1度全学年を対象に、赤ちゃんとふれあい体験学習を開催しています。

令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、赤ちゃんとふれあいや保護者の方との交流は中止せざるを得ない状況となっておりましたが、今年は3年ぶりに保護者の方とそのお子さん達も会場へお越しいただき、直接対面で中学生と保護者の方が交流できる場を設けました。保護者の方へ生徒さんから直接質問を投げかけ、グループで同じ場を共有することで中学生の生徒さんも保護者の方たちの思いに触れることができたのではないかと感じました。感染予防の観点から、今年もお子さんたちと直接ふれあうことはできませんでしたが、会場内で元気に遊ぶ子どもたちの様子を実際に見ることで、生徒さん達には子どもたちのかわいらしさなどを感じてもらえたのではないのでしょうか。また、今年もコロナ禍にも関わらず例年ご協力いただいている釧路赤十字病院の助産師の方を講師に招き、いのちの誕生、受精から出産、性感染症についてのお話を聞き、自分を大切に生きること、人を大切にすることについて学ぶ機会となりました。

参加した生徒の皆さんやご協力いただいた保護者の方から、今回の事業を通して感じたことや学んだことなど、率直な感想をいただきましたので、アンケートの集計と併せ一部をご紹介します。



### 鶴居中学校(令和4年10月28日開催)

・(\*) : 5%水準で有意差あり

#### ●赤ちゃんが好きですか？

	体験前(人)	体験後(人)
好き	18	21
わからない	9	5
嫌い	0	0

#### ●赤ちゃんに対するイメージは？(重複回答)

	体験前(人)	体験後(人)
弱々しい	3	1
よく泣く	20	19
やかましい	1	1
かわいい	22	21
一人では何もできない	8	3
元気(*)	14	22
大きくなる	12	15

#### ●赤ちゃんを育てることについてどう思いますか？(重複回答)

	体験前(人)	体験後(人)
大変そう	22	22
つらそう	10	8
忙しそう(*)	21	12
めんどろそう	1	1
自由な時間がない	8	5
楽しそう(*)	10	19
幸せそう	11	17
すばらしい	6	12

#### ●親に対するイメージは？(重複回答)

	体験前(人)	体験後(人)
口うるさい	14	8
わずらわしい	2	1
厳しい	6	4
威厳がある	1	3
ありがたい	16	18
頼りになる	10	16
安心感がある	14	15

#### ●赤ちゃんとふれあい体験学習は楽しか。(体験前) ふれあい体験をしてよかったか。(体験後)

	体験前(人)	体験後(人)
はい	14	26
わからない	12	0
いいえ	1	0

